



日本共産党 まんだち幹夫 通信

みなさんをいつもまんなかに

2006年夏号 事務所：白山2-25-8 3814-1076 自宅：3814-3935
メール：mail@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

▼1959年 静岡県浜松市(旧引佐町)生まれ47歳
▼地元の小・中・高校に通い、1981年東洋大学Ⅱ部社会学部卒業▼日本共産党文京地区委員会勤務、「赤旗」文京出張所長などを経て、現在都議会議員小竹ひろ子事務所長▼今年3月まで区立礪川小学校PTA会長を務める▼趣味は韓国映画鑑賞▼家族は妻と一男一女▼住所は、小石川2-16-19中銀第二マンション401



子どもたちに輝く未来を だれもが安心できる街に

区民の声がもっとよく伝わる区政を まんだち幹夫 ですよ

小竹都議とともに街頭宣伝するまんだち幹夫

「あーっっっ」

「安心して子育てができると思っていたのに、心配です」「年金給付が減っているのに、なぜ増税なの?」「こんな嘆き、つぶやきが聞こえてきます。保険料のアップや給付の削減など、生きる権利をまもるための社会保障が逆に国民を苦しめ、「官から民へ」の名のもとに自治体ですべき施策を民間に任せる。国の政治も、文京区の政治も同じ流れになっています。毎日のように起る事件、

小竹ひろ子都議事務所長
まんだち 幹夫



東京都議会議員 小竹ひろ子

子どもたちのため頑張るお父さん まんだち幹夫さん

都議会に返り咲いて一年、区内はもちろんのこと東京中を走りまわっています。みなさんのご支援に感謝申し上げます。

私の事務所の萬立幹夫さんが区政に挑戦することになりました。萬立さんは、共産党の仕事しながら小学校PTAや地域の活動に旺盛にとりくんでいました。小石川、白山、西片、春日のみなさんよろしくお願ひします。



小規模校のなにか悪いの? 「悪くはありません」(区教委)

この問題がどの説明会で焦点のひとつになりました。区は「単学級だから先

このことを考えて...」との一点張り。しかし「小規模校」の良さを知っている多くの保護者には納得が得られない回答ではありません。わたしも子ども2人が礪川小学校にお世話になりました。先生方の目が隅々まで行き届き、学年を超えてみんな仲良し、地域との連携もとれています。児童数も増えていきます。なぜ今統合か。『協働協治』『区民参画』の立場でジックリ区民の声を聞くべきではないでしょうか。

「将来ビジョン(素案)」の説明会が小石川地域でも行われました。7月14日は、私も3月までPTAとして関わった礪川小学校。会場の体育館は初夏の猛暑のため「蒸し風呂」状態。それに質疑が輪をかけた。 「校歌に『開山堂の昔より...』(二番)とあるがこの意味を知っているのか」との質問に教育委員会は「認識不足だった」としか言えません。学校と地域の歴史を想う気持ちは、たいへん大きいものです。「将来ビジョン」は、これをゴッソリ変えてしまう計画です。

「小中学校の将来ビジョン(素案)」説明会

「学校の歴史は区民の財産」「育成室はどうなるの?」保護者・地域から不安の声、そして熱い訴えが:



歩いて聞いて
届けます

特養ホーム、障害者施設を訪問

利用者も事業者も悲鳴

特別養護老人ホーム、障害者施設、区立小学校・保育園などをこの6月、区議団といっしょに訪問し状況をお聞きしました。「なぜこんなに苦しめるの?」介護・障害者施設を見ての率直な感想です。利用者さんの願いとそれに応える職員のがんばりに、行政が向き合っていない...そんな思いです。 この間、 駕籠町・林町・明化・柳町・指ヶ谷小の施設調査にも参加しました。



特別養護老人ホーム「大塚みどりの郷」で

白山1丁目、西片のみなさんへ

5期20年お世話になった小林進区議から新人、まんだち幹夫がみなさんの声を区政にお届けします。小林区議は、ひきつづき向丘・千駄木・根津・弥生の地域を担当させていただきます。2人そろってよろしくお願ひします。



まんだち幹夫(右)小林進区議(右4番目)

まんだち日記

◆6月 地域のお父さんお母さん、子どもたちと恒例の田植えに行ってきました。一日雨降りでしたが、「田植え日和だね」とみんな元気に泥と格闘していました。



植えたもち米で、年末には餅つきをします。(写真)

◆7月10日 区議会建設委員会「区立児童遊園条例を一部改正する条例」が可決され、小石川2丁目児童遊園(礪川小学校の横・通称イルカ公園)が8月中で廃止されます。「公開空地」としてスペースは残りますが、今までどおり遊べるよう区に申し入れたいと思います。ご意見お寄せください。

